

概要

- 第4期埼玉県がん対策推進計画では、施策評価として、ロジックモデルと取組指標を設定した。
- ロジックモデルに基づく施策評価は、計画策定から3年後(令和8年度)の中間見直しの際に検討することとした。
- 令和8年度の第4期埼玉県がん対策推進協議会の開催時期については、現行計画から新たに「第8次埼玉県地域保健医療計画」の一部として組み込まれたことから、庁内の関係課と調整のうえ、改めて委員に周知する。

指標一覧

- 添付の資料7ー2「第4期埼玉県がん対策推進計画 ロジックモデル・指標(案)」を参照。

令和6年3月14日 R5-2がん対策推進協議会		第4期埼玉県がん対策推進計画の概要(案)	資料1
策定趣旨		計画期間	
■ 埼玉県のがん対策を総合的、計画的に推進するための計画 (政策的に関連の深い関連計画として第8次埼玉県地域保健医療計画に組み込む) ■ 第3期計画の終期は令和5年度であるため、第4期がん対策推進基本計画(国計画)に基づき、新たな計画を策定		■ 令和6年度から令和11年度まで(6年間) ※3年後に中間見直しを行う	
目指すべき姿			
■ 誰一人取り残さないがん対策を推進し、全ての県民とともにがんの克服を目指す			
分野別施策			
1 科学的根拠に基づくがん予防・がん検診の充実 がんを知り、がんを予防すること、がん検診による早期発見・早期治療を促すことで、がん罹患率・がん死亡率の減少を目指す (1) がんの1次予防 (2) がんの2次予防(がん検診)	2 患者本位で持続可能ながん医療の提供 適切な医療を受けられる体制を充実させることで、がん生存率の向上・がん死亡率の減少・全てのがん患者及びその家族等の療養生活の質の向上を目指す (1) がん医療提供体制等 (2) がんと診断された時からの緩和ケアの推進 (3) 希少がんおよび難治性がん対策の推進 (4) 小児がん及びAYA世代、高齢者のがん対策	3 がんとともに尊厳を持って安心して暮らせる社会の構築 がんになっても安心して生活し、尊厳を持って生きることのできる地域共生社会を実現することで、全てのがん患者及びその家族等の療養生活の質の向上を目指す (1) 相談支援及び情報提供 (2) 社会連携に基づく緩和ケア等のがん対策・患者支援 (3) がん患者等の社会的な隔離への対策(リバイバーシップ支援)	
【これらを支える基盤の整備】 (1) 人材育成の強化 (2) がん教育とがんに関する知識の普及啓発 (3) がん登録の利活用推進 (4) 患者・市民参画の推進 (5) デジタル化の推進			
【計画推進のための役割】 県民、患者団体等、拠点病院等、その他の医療機関等、保険者、事業者、県、市町村の役割		【指標】 がん検診受診率	
主な見直しのポイント			
■ がん検診受診率の目標値引き上げ (一部の部位で受診率50%を達成できた年度もあることから、目標値を国計画と同様に50%から60%に引き上げ)			
■ 「アピアランスケア」を独立した項目として記載 (治療を継続しながら社会生活を送るがん患者が増加する中で、治療に伴う外見変化に対するサポートが重要であることから、国計画と同様に記載)			

参考: 令和5年度第2回埼玉県がん対策推進協議会資料から抜粋